

スノーサーベイデータについて

二宮 洸 三*

「天気」8月号に掲載された“2006年秋季極域・寒冷域研究連絡会の報告”のうち，“豪雪・寒冬研究の経過，問題点，および，今なすべきこと”（二宮 2008）で「この頃水力電源開発のためスノーサーベイが行われたが，筆者はそのデータの所在を確認していない。」と記した。

これに対して首都大学東京の松山准教授より，スノーサーベイデータについて記述された論文（松山

1998）を御教示頂いた。この論文には多くの原データが引用されている。

二宮（2008）の不備を補うために，松山（1998）を文献として紹介させて頂き，松山准教授の御教示に御礼申し上げます。

参 考 文 献

松山 洋，1998：日本の山岳地域における積雪水当量の高度分布に関する研究について。水文・水資源学会誌，**11**，164-174。

二宮洸三，2008：豪雪・寒冬研究の経過（成果と反省），問題点，および，今なすべきこと。天気，**55**，687-695。

* Kozo NINOMIYA, 海洋研究開発機構地球環境フロンティア研究センター。

© 2008 日本気象学会